



祈りを込めて いざ放流

10月1日、留萌市と留萌漁業協同組合が礼受町の間育成施設で飼育してきた『クロソイの稚魚』約1万匹が順調に育ち、留萌港西防波堤付近に放流されました。

クロソイは『根付き魚』のため、育てる漁業に適していると言われ、栽培漁業による資源拡大に期待が寄せられます寄せられます。

放流されたクロソイの背びれには「ルモイ10」と書かれた赤いプラスチック製の標識が付けられています。

貴重なデータとなりますので、釣ったり見つけた人は留萌市水産課 (TEL 42-1801内線273) までご連絡ください。